

資産が人にもたらす「癒し」や「パワー」などの情緒的な価値も「洞爺湖町らしさ」であることがわかります。

総合評価

今回の調査は洞爺湖町の地域ブランドを明らかにするために、洞爺湖町民と札幌市民に対して洞爺湖町の魅力を内外から確認することを行いました。結果、洞爺湖町という地域に対して、町民が感じている以上に町外の人には（漠然と）魅力的に映っていること、そして、洞爺湖町ファンの人達は洞爺湖町を訪れるごとに、「癒し」「パワー」などの神秘的ともいえる情緒的な効用を感じていることが

わかりました。またそれをお伝えいくための地域資産に関する調査では、洞爺湖町のご当地食やオリジナルイベントの魅力を強くアピールしていくことが、これから洞爺湖町ブランドの確立に必要だと思われます。

アンケート調査 ご協力のお礼

新年早々、お忙しい中アンケート調査にご協力いただきありがとうございました。

洞爺湖温泉の歴史は、明治43年（1910年）に温泉が発見され、大正6年（1917年）初めて湖畔にて「温泉宿（竜湖館）」が営業されたと宿（竜湖館）が営業されたとして、虻田町史に記述しておられ、これを開湯と定めています。

す。

その後、数度の噴火災害やバブル崩壊・リーマンショック等経済後退などにより町の観光産業は、「後退しては乗り越える」を繰り返してきました。

平成23年に発生した東日本大震災による全国的な観光需要の後退や国際関係上の問題から外国人宿泊観光客の大幅な落ち込みなど、ここ数年では最も厳しい状況が続いてきましたが、町の支援協力をいたり、外国人観光客誘致や震災前の宿泊客目標60万人を今年3月達成することができました。

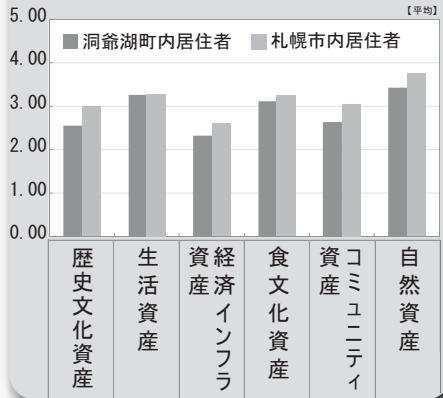
来を見据えた開湯100年事業を企画し、多くの方々に愛され「リピーター化」される（社）洞爺湖温泉観光協会

今回、洞爺湖温泉の歴史は、明治43年（1910年）に温泉が発見され、大正6年（1917年）初めて湖畔にて「温泉宿（竜湖館）」が営業されたと宿（竜湖館）が営業されたとして、虻田町史に記述しておられ、これを開湯と定めていま

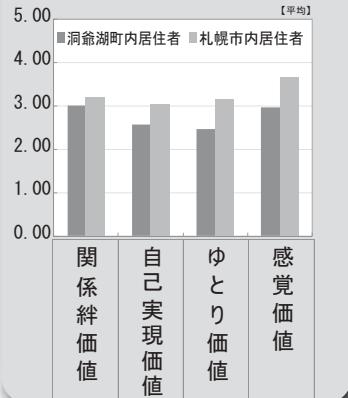
たが、町の支援協力をいたり、外国人観光客誘致や震災前の宿泊客目標60万人を今年3月達成することができました。

今回、洞爺湖温泉の歴史は、明治43年（1910年）に温泉が発見され、大正6年（1917年）初めて湖畔にて「温泉宿（竜湖館）」が営業されたと宿（竜湖館）が営業されたとして、虻田町史に記述しておられ、これを開湯と定めていま

地域ブランド資産



地域ブランド価値



洞爺湖町の「40の地域資産」の認知と魅力

